

# 商工經濟日誌

## 内國の部

(自昭和四年一月一日  
至昭和四年三月三十一日)

一月四日(金) ▲日銀發表昨年末迄特別融通資金回收額

四千四百萬圓殘額六十九行分合計六億四千參百九拾

萬圓

七日(月) ▲羊毛工業會第二部有志會日本合同兩毛織

東洋東京兩モスリソソ四會社代表會合操短十二月限打

切内定

八日(火) ▲砂糖供給組合協議會精糖及耕地白糖マ

ク統一内定

九日(水) ▲砂糖供給組合協議會精糖及耕地白糖三種

分類及精糖格差(各四拾錢)決定

▲正金爲替建値對米四十五ドル八分の七(八分の一)引

下

十日(木) ▲上旬貿易入超千七拾貳萬五千圓

十一日(金) ▲正金爲替建値對米四十五ドル四分三(八

分一)引下

十二日(土) ▲人造肥料關東五會社對新潟及庄内地方適

燐酸共同販賣契約成立商賣値一駄付五錢値上決定

商工經濟日誌

十四日(月) ▲正金爲替建値對米四十五ドル八分五(八

分一)引下

十五日(火) ▲正金爲替建値對米四十五ドル二分一(八

分一)引下

十七日(木) ▲右翼聯盟五團體代表者國際勞働會議勞働

代表選考協議會開催(神戸)鈴木文治氏辭退松岡駒吉

氏推薦決定

十八日(金) ▲經濟審議會第二特別委員公債政策改善問

題審議

十九日(土) ▲中旬貿易入超貳千八百六拾萬圓

廿一日(月) ▲第五十六議會再開

▲農林省發表昭和三年米實收高六千卅萬二千餘石(二

回豫想比較六十萬四百餘石增前年實收比較百七拾九

萬餘石減)

廿二日(火) ▲砂糖供給組合細則協議會運賃マク庶務

規程協議決定

廿三日(水) ▲萬國勞働會議使用者側代表岩崎清七氏決

定

廿四日(木) ▲農林省發表三年度蠶生產高九千三百八十

(一八七) 八五

五万八千貫(前年比較二百九十九萬六千貫)

廿九日(火) ▲東京預金協定銀行幹事會預金利率引下決

定發表定期甲四分五厘(五厘)乙五分(八厘)其他各種

預金日歩一厘引下

▲正金爲替建値對米四十五ドル八分三(八分一)引下

三十日(水) ▲三井三菱第一安田住友川崎第百正金以上七

銀行當座貸越壹厘引下二月五日實施決定

▲東京貯金利率協定加盟貯蓄銀行普通貯金日歩九厘に

壹厘方其他引下

卅一日(水) ▲下旬貿易入超千七百九拾參萬八千圓

二月一日(金) ▲遞信省郵便貯金利率四月一日實行內定

六日(水) ▲正金銀行爲替建値對米四十五ドル二分一

(八分一)引上

十二日(火) ▲衆議院本會議豫算案上提民政黨豫算返上

動議提出二百五十九票對百七十七票否決豫算案可決

十五日(金) ▲メモント聯合會委員會三月中限產率三割

据置四五兩月二割四分(六分方)緩和決定

▲日本輸出メリヤス工業日本輸出綿織物同業及日本輸

出工業三組合聯合會全國大會開催(大阪)染料關稅撤

廢及チーズ清算取引併用決議可決

十六日(土) ▲日本銀行株主總會

十九日(火) ▲衆議院本會議鐵道敷設法中改正法律案可

決

▲南滿洲鐵道第廿九回社債參千五百萬圓發行下受協議

條件確定

二十日(水) ▲中旬貿易入超貳千七百八萬貳千圓(前年

同期比較千九百七萬五千圓增加)

▲富士瓦斯紡績小山大分兩工場三月一日以降深夜業廢

止決定

▲鬼怒川水力電氣重役會澁谷急行電鐵經營決定利光社

長四萬株引受

廿一日(木) ▲三菱銀行森村銀行買收決定調印

廿二日(金) ▲貴族院本會議優待問題決議案上程贊成百

七十二票反對百四十九票可決

廿六日(火) ▲正金銀行爲替建値對米四十五ドル四分一

(八分一)引下

廿八日(水) ▲下旬貿易入超參千貳百參拾四萬壹千圓

(前年同期比較貳千百參萬圓增)

三月四日(月) ▲正金爲替建値對四十五ドル(四分一)引

下

五日(火) ▲衆議院本會議治安維持法採決替成二百四

十九票反對百七十票可決

▲滿鐵對東支鐵道運賃協定成立

▲正金爲替建値對米四十四ドル四分三(四分一)引下

▲横濱市電從業員總罷業開始

七日(水) ▲正金爲替建値對米四十四ドル二分一(四分一)引下

分一)引下

九日(土) ▲上旬貿易入超千四百五十七萬貳千圓(前

年同期比較參百貳拾九萬四千圓減)

十一日(月) ▲東京瓦斯倍額増資決定

十二日(火) ▲正金爲替建値對米四十四ドル八分五(八

分一)引上

十三日(水) ▲モスリン會社八社宣傳機關モスリン振興

會組織決定

▲イタリー銀行公定割引歩合七步(二分)引上

十四日(木) ▲衆議院本會議々長選舉川原茂輔氏當選後

昭和四年度追加豫算案及關稅定率法中改正案(木材關稅引上)可決

▲東京商工會議所會頭藤田謙一氏副會頭大山斐瑗磨杉

山義雄兩氏決定

▲産業組合中央金庫評議員會昭和四年度最高貸付利率

協議年利三厘日歩一厘方引下決定

▲横濱船渠勞働爭議決裂罷業開始

十五日(金) ▲貴族院本會議昭和四年度豫算案可決

▲衆議院本會議肥料管理法及同特別會計法勞働者災害

扶助法資源調查法制定及米穀需給調節特別會計法特

許法實用新案法意匠法商標法酒造組合法船舶職員法  
無線電信法陪審法等一部改正案可決

十六日(土) ▲東京市會議員選舉執行(棄權三割)

十七日(日) ▲東京市會議員選舉開票民政黨四十名政友

會廿一名社會民黨五名日本大眾黨一名革新黨二名

中立十五名計八十四名當選

十八日(月) ▲衆議院本會議鐵道營業法關稅定率法大正

十三年法律第廿四號中改正及製鹽地整理法救護法案

可決

十九日(火) ▲貴族院本會議治安維持勅令事後承認案可

決

二十日(水) ▲中旬貿易入超百七拾萬貳千圓(前年比較

七百六拾貳萬四千圓減)

廿二日(金) ▲正金爲替建値對米四十四ドル二分一(八

分一)引下

廿五日(月) ▲正金爲替建値對米四十四ドル八分五(八

分一)引上

廿六日(火) ▲第五十六帝國議會開院式舉行

▲砂糖供給組合第三回賣出價格及數量決定

廿八日(木) ▲濟南事件支協定式調印外務省內容發表

三十日(土) ▲下旬貿易入超千八百九拾七萬五千圓(前

年比較五拾五萬貳千圓減)

外國の部

一月三日(木) ▲佛支關稅條約及西支修交通商豫備條約

正文發表

五日(土) ▲イタリー銀行公定割引歩合六分(五厘方)

引上

八日(火) ▲漢口反日會碼頭苦力對日清汽船荷役罷業

十日開始申合

九日(水) ▲漢口反日會糾察隊日本租界内外交通遮斷

支那人勞働全部休止

十日(木) ▲支那國民黨中央部關稅自主實行の爲め二

月一日(新關稅率實施期)を期し徹底的日貨排斥斷行  
決定

十一日(金) ▲獨逸帝國銀行公定歩合六分五厘(五厘引下

十五日(火) ▲支那人群衆漢口日本租界附近海軍俱樂部

集會所掠奪其他租界内擾亂日本人二名拉致暴行

十六日(水) ▲米國石油會社社石油輸出組合組織決定

十七日(木) ▲米國大統領不戰條約批准書調印

十九日(土) ▲日本對埃及通商條約成立

廿四日(木) ▲カナダ政府發表小麥收穫豫想五億三千三

百五十七萬二千ブツセル

二月二日(土) ▲支那國民政府輸出稅二分五厘引上大連

海關に實施方通告

五日(火) ▲コロンボ波止場人夫其他約一萬五千名同

盟罷業開始

七日(木) ▲英蘭銀行公定割引歩合五分五厘(五分引上

▲紐育株式英銀利上入報慘落

八日(金) ▲日支交涉濟南事件共同調査範圍に付意見

衝突決裂

十四日(木) ▲印度帝國銀行公定割引歩合七分(七分引上

廿一日(木) ▲インド政府發表最終棉花收穫豫想五百二

十萬四千俵(前回比較七十九萬二千俵減)作付及別三

千五百八十七萬四千エーカー

廿五日(月) ▲支那政府滿鮮國境通過貨物三分一減特惠

關稅撤廢布告廿六日實施

廿六日(火) ▲ナシヨナル・パンク及ギヤランチ・トラ

スト台同成立

三月四日(月) ▲米國第卅一代大統領フーバー氏副大統領

領カークス氏就任式舉行

十五日(金) ▲支那第三次全國代表大會開會式舉行

十八日(月) ▲支那第三次全國代表大會開始

廿三日(土) ▲日華紡織經營華豐紡織工場(吳淞)支那人

職工罷業開始

▲和蘭銀行公定割引歩合五分五厘(一分)引上